第４３回　千石会総会（令和６年）

第４３回千石会総会

令和６年１０月１８日（金）午後４時から、共創イノベーション棟２階会議室１において総会が開催されました。

１．開会（集合写真撮影）

総会前に会場別室で集合写真の撮影が行われ、その後に森椙総務幹事の司会で総会が開始された。冒頭、竹村会長から挨拶と報告が行われた。

【竹村会長の挨拶】

千石会会長の竹村です。本日は、ご多用の中、多くの会員の皆様にご出席を賜わり、誠に有難うございます。そして、皆様には平素より当会の活動にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昭和５７年に創設されました「千石会」が今年で４３年の歴史を重ねております。現会員数は賛助会員を含め２８０名となっており、この１０年間で約１３７名が減少しております。これは会員の高齢化などによる退会申出による減少に比べ新規会員の入会の少ないことによるのと、３期連続の会費未納による任意退会者が増加している関係です。

会員は千石会の宝です。今後も増員に向けては役員一同引続き努力してまいりますので、ご支援の程よろしくお願いいたします。また、会員の皆様をはじめ、役員の方々、本部総務課の皆様には大変お世話になっております。当会の事業活動につきまして引き続きご理解、ご協力を賜りますようお願いして、挨拶とさせていただきます。

２．議事

（１）役員の改選について

竹村会長から、７月２６日開催の役員会で審議・決定した１０月１日付け役員体制について、次のとおり報告があった。

① 徳永顧問が定年により９月末で退任されたこと。後任の顧問は置かないことにしたこと。

② 松本副会長が任期満了により９月末をもって退任され、後任に亀井協議員を選出したこと。

③ 三井協議員、中島協議員が会則上の定年により９月末で退任されたこと。協議員の後任補充はしないことにしたこと。

９月末をもって役員会から去られた、徳永さん、松本さん、中島さんから退任挨拶（三井さんは総会欠席）があった。続いて、亀井副会長から就任の自己紹介・挨拶が行われた。

（２）会員の動向について

①　叙勲受章者について

資料のとおり千石会会員の次の方が、文部行政事務に長年従事し、功績をあげられたことにより受章された旨の報告があった。

令和６年（春）　瑞宝双光章　奥平　正明　氏

②　物故者について

資料のとおり物故者（２名）の報告があり、弔意を表すため黙祷が捧げられた。

③　会員の増減及び会員数について

竹村会長から、正会員及び賛助会員の増減について、退会申出者１０名、任意退会者１１名、賛助会員６名の退会があったこと、新規入会者は正会員に今年３月末の定年退職者（２２名）から３名入会し、賛助会員は補佐以上の昇任者（１８名）及び他機関からの異動者（６名）の中から３名の入会があったとの報告があった。

また、竹村会長から会員数については、正会員・賛助会員の退会者２９名に比べて新規入会者６名と少なく、この１０年間で正会員１０６名、賛助会員３１名が減少しているとの報告と、新規定年退職者への入会案内や賛助会員の勧誘、また役員から顔見知りの者に声掛けするなどを実施しているが、思うようには入会いただけていないとの報告があり、本日出席の皆様からも知り合いの方に積極的な入会案内をお願いしたいとの要請があった。

（３）令和５年度「千石会」会計報告

川北会計幹事から、令和５年度収支決算報告書に基づき報告があった。続いて村上監査幹事が欠席のため竹村会長から監査結果について報告があり、審議の結果、異議なく承認された。

（４）その他

１）千石会ＨＰの閲覧が出来なくなっていることの対応策の報告について

竹村会長から総会レジュメには記載していないが、千石会ＨＰの閲覧ができなくなっている理由と対応策について次のとおり説明があった。

【閲覧できない理由】

○　本年７月２日にレンタルサーバー会社から、千石会ＨＰからサーバーに非常に多いアクセスを繰返しているプログラム２件が認められ、アクセスを中断したとの連絡があり、このプログラムがどのような働きをしていたのか調べようがないため、この２件を削除した。

○　プログラムの不正侵入は千石会のパスに設置されたファイルが原因と考えられ、他にも不正プログラムがある可能性もあり、今まで構築したものを削除し再度構築するようレンタルサーバー会社から指示を受けた。

この作業で７月から１０月まで時間を要し、千石会会員の皆様からは問合せもいた

だいた。

【ＨＰの再構築】

○　約１０年かけて構築したコンテンツを完全に復旧するには時間が掛かり、データのバックアップがあれば復元は可能だが、レンタルサーバー会社から復元を失敗したとの連絡があった。

○　ＨＰを専門業者に構築・維持管理を依頼する予算はなく、ＨＰ作成ソフトウェアによる新規作成を現在検討中であるが、専門知識のないため勉強しながらの対応となり、新ＨＰの運用開始時期の見通しは立っていない。

【新ＨＰ完成・運用開始までの対応策】

○　取りあえず外部からの侵入をなくすため、会員に周知するだけの最小限の機能で構築し再開したい。従来のようにコメント等の入力は行えない。また、過去データがないため手持ちの移行可能なデータと、今後の新たなデータの閲覧のみとなる。

○　この方式でも不正侵入の可能性は低くなるがゼロではない。企業等のＨＰは経費をかけて専門業者が監視しているが、千石会にはその経費がないため、今後も不正侵入が繰返された場合は、最悪その時点でＨＰを打切る方針としたい。

竹村会長から、「とりあえず最小限の機能でのＨＰの運用と、今後不正侵入が確認された時点でのＨＰの打切り」について確認が行われ、特段の意見等はなく、異議なく了承された。なお、今月中には最小限の機能での運用開始ができるよう調整していくとの説明があった。

３．大阪大学の近況報告

千石会顧問の井上理事・副学長から、大阪大学の近況報告と題して、昨年の総会以降の大阪大学の現状等について詳細な報告があった。

○懇親会

総会終了後、コンベンションセンターの西側ポプラ通りの食堂「NSSOL Café（エヌエスソル カフェ)」に会場を移し、会員及び賛助会員を含め約４０名の参加のもと懇親会が開催された。

林副会長の進行により、竹村会長の挨拶の後、ご多忙の中ご出席いただいた西尾総長からは、懇親会への参加を毎年楽しみにしていたことや、総長の任期が来年３月末までとなり、千石会会員と事務系職員に対する感謝の言葉とともに、千石会を阪大の文化として継承ほしいとの心温まるご挨拶に会場内は感動に包まれた。その後、参加者で最年長者の辻 仁さんの乾杯で始まり、１年ぶりとなる再会に、会員、賛助会員がお互いの近況を語り合うなど終始和やかな雰囲気に包まれた。会の中盤には、恒例となっている「お楽しみ抽選会」が行われ、会場は大いに盛り上がりました。最後に亀井副会長の締めの挨拶があり、来年の再会を約束して盛会裏のうちに終了した。